

犬山白寿苑だより

医務室よりひと言

「日焼け対策」について

小麦色に日焼けした肌は一見、健康的に見えますが、実は大きなダメージを受けています。日焼けには皮膚内部に入ってきた紫外線に対して、皮膚がメラニン色素を産出してその侵入を防御するために起こる現象です。シミやシワなどの皮膚の老化につながりますから注意が必要です。

予防するには

日焼け予防には外出時のこまかい気配りとスキンケアしかありません。紫外線が最も強い夏の外出時には帽子や日傘を利用したり、日焼け止めクリームやファンデーションをつけて紫外線に素肌がさらされないようにしましょう。曇りの日や短時間でも紫外線のダメージを受けています。

対処法

皮膚が赤くなった時は、一種のやけど状態ですから、手当をする必要があります。炎症を起こした肌は、先ず冷やします。ヒリヒリ感が消えるまで冷やした後、低刺激性の化粧品で水分補給と保湿をおこなってください。3〜4日で皮がむけ始める状態になりますが無理に剥がすと赤くムラになるので自然にむけるのを待って下さい。肌を焼きすぎる状態が続くと皮膚癌が発生する危険がありますから過度の日焼けは絶対に避けるようにしましょう。

追弔セレモニー

八月十日 午前十時半より

犬山白寿苑 尚歯館ホールにて常福寺のご住職をお迎えし、物故者への「追弔セレモニー」が厳かに行われました。

犬山白寿苑では開設以来、毎年盆と春・秋の彼岸に供養を行って参りましたが、年々お参りにみえる方々も増し、多くの方々にご参列頂きますよう、このような「追弔セレモニー」とさせていただきました。故人を敬う気持ちは、先祖、お年寄りを大切に思う気持ちに通じると考えております。カーテンや祭壇一式、その他の費用はこれまでにご家族様からいただきましたご寄付にて準備をすすめさせていただきました。心よりお礼申し上げます。

当日は物故者のご家族様、ご利用者様、当法人理事長、施設長を始め職員一同が共に物故者への哀悼を捧げました。

今回、物故者の在りし日のお姿写真をDVDにまとめ、スクリーンにて映しました。皆さん懐かしそうに画面を見つめておられ、セレモニー終了後、ご家族様から身に余る感謝のお言葉を頂戴しました。



ご利用者様からも友人達のご供養ができたこと、そして、このセレモニーを通して「今後とも安心して白寿苑で過ごしていけるわ」と嬉しいお言葉をいただきました。

※ 当日のセレモニーの様子は

記録(DVD)に収めてありますのでご希望の方はお申し出下さい。

猛進猛進

レクリエーション

濠陽館では3週間に渡り、利用者皆様と「すだれ」にアサガオを飾り付けました。最初は障子紙を丸く切り赤や青の絵の具をつけアサガオらしい色つけから始まりました。絵の具をたっぷりつけるると全部に色が付きアサガオらしくならないため、色つけにも緊張感が走りました。次に色テープでつるらしく飾り、緑の色画用紙で葉っぱを作りました。葉っぱらしく見せるのも苦労していました。職員と利用者でアサガオと葉っぱにポンドをつけ最終工程に入り利用者様ひとりひとりで作られる顔は真剣で、作品ができあがった時の笑顔は満足感で一杯の笑顔でした。このアサガオは濠陽館の講話スペースに展示してありますので是非一度見に来て下さい。

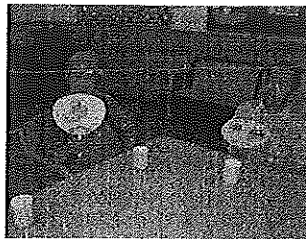


尚齒館便り

松月町便り

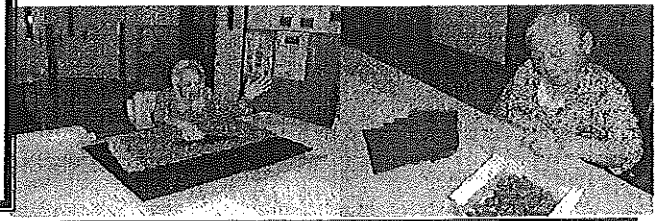
今年も残暑が厳しく暑い日が続き、各地でゲリラ豪雨が発生しています。尚齒館でもゼリーを作ったりして、水分補給をこまめに取りように心掛けています。8月は夏の季節を感じて頂こうと、レクリエーションで、うちわ作りとかき氷作りを企画しました。うちわ作りでは、体験に来ていた、小学生の生徒や、実習生と一緒にわいわい、がやがやと仲良く協力しながら笑顔で楽しそうに無地の紙の上に、切り絵を貼ったり、色鉛筆やマジックで絵や模様を描いたりしてオリジナルの個性的なうちわが完成しました。

かき氷作りでは、利用者様が大きな氷を手を持ち、かき氷機を使って、氷を削り、自分の好みのシロップをかけ食べました。冷たくて気持ちよくおいしかったようで、おかわりをする利用者様もみえました。苑で暮らしてみえる利用者様は、季節の変化を感じにくいいため、これからも、季節ごとの行事や外出の機会を増やしていきたいと思っています。



意酷暑続きのこの夏も、ようやく峠を越えようとしています。天候不順のため、室温調整が難しく、数名の利用者様が風邪をひいてしまわれましたが、今は快方に向かわれております。来る夏祭りの作品作りに取り組んでおられます。平日の午後や日曜日など時間があるとテーブルに向かい楽しんで参加されている様子です。今年はどうなる作品になるか乞うご期待です。

松月町は9月から新リーダーを迎えます。利用者様の健康管理には特に気を配り、スタッフ一丸となって厳しい残暑を乗り切っていこうと思えます。



九月二十日は
十五夜です。

月齢どう
言葉も存知しよう。

新月

望月

十六夜

満月

待宵月

小望月

上弦月

美しい言葉で表現されとも風情が感じられます。

白寿苑では毎年、すすきを生け

観月会が開かれます。

日頃、月を落ちついた気持ちで眺めること立待月が少な、生活です。

この日は、

屋待月

ゆったりとした一時を

寝待月

楽しく過ごして

更待月

ただだきたく思っています。

晦日月

下弦月

「ご家族様へのお願い」

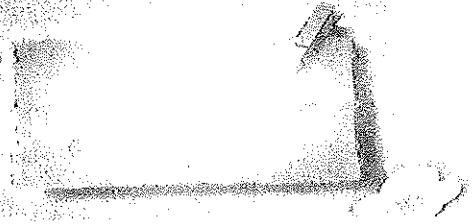
ご利用者様の「支援」につきまして、これまでも身体面及び精神面へのケアを行い、快適にお過ごしいただいて参りましたが、今後はより一層精神面への支援を重視していこうと考えております。ご利用者様の生活されてきた時代背景・生活環境・趣味・特技などを知り、心の支えになることはご利用者様の「生活の質の向上」に繋がると思っています。

ご家族の皆様から当時の流行っていた事柄や歌。ご利用者が特に印象に残っている出来事などを教えていただければ幸いです。

昔の古き良き時代を勉強させていただき、ご利用者様と気持ちを共有していきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



Have A Nice デイサービス



毎日暑い日が続きますが、デイサービスの利用者さんは元気に来苑しています。

今は「夏休み」ということで福祉体験で小学生の生徒さんが遊びに来てくれました。

お年寄りと話すと言うことで生徒さんをはじめのうちは緊張していましたが、「学校では今こんなことが流行ってるんだよ」「へえ、そう！昔はおはじきとかね・・・」などと会話も弾み、楽しい一時になったようです。共にいい笑顔をしていました。

花笠町だより

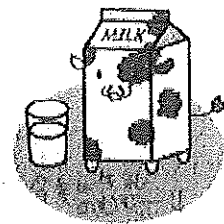
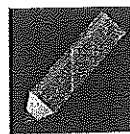
～ある利用者様の日課～

花笠町には10名の利用者様がいらっしゃいます。

身体的にも性格的にもいろいろな個性をお持ちの方々です。ですから同じユニットにいても生活様式は様々です。その中でも職員のお手伝いを日課にしている方がいらっしゃいます。その方は入所されて数ヶ月・・・苑での生活にもだんだん慣れてきたご様子です。身体的にはほぼ自立されています。

入所されて間もない頃はこちらから“〇〇をして下さいますか？”とお願いしていたことも今ではご自分で用具を準備して時間を見計らってやって下さいます。

今、主にさせていただいていることは、洗濯たたみ、食事前のテーブルの消毒、ランチョンマットのアイロン掛け、(職員と一緒に) 食事の温冷庫を取りに行く、など・・・。ゴミ捨てや物品を取りに行くときなども一緒に行き荷物を持って下さいます。ご本人曰く“歩いて運動したいから、ちょっとのところでも連れてって欲しい”とのこと。フロア内でのお手伝いも職員がお礼を言うと“こんなことぐらい・・・動かないかん！！”と言っては率先してやって下さいます。その方が入所される前までは、そこまでお手伝いが出る方はいらっしゃらなかったもので、正直どこまでやっていただいて良いものか、戸惑うこともありました。でも、皆様少なからず家事をこなしてきた方ばかりです。今はのんびりしたいという方、今でも働いていたいという方、それぞれお考えはあると思います。ですから決して強要するのではなく、やりたいと思って下さる方が自由にやられることが、少しでも生活の‘はり’のようなものになって下さればいいと思っています。“誰かの役に立ちたい”という気持ちを大切にしていきたい。そして、していただいたことに慣れることなくいつも感謝の気持ちを忘れてはいけない、と日々思っています。そして一番大切なことはいつまでも変わらずにお手伝いをさせていただきたい＝いつまでもお元気で過ごしていただきたいということです。



染井町便り

夏祭りの作品のコースターを利用者様と一緒に作りました。牛乳パックを再利用し、好きな形を選んで頂き切り、飛行機やキューピーさんや次朗柿やかきフライや鰻重等利用者様のお好きなものや言葉を書いて頂きました。お好きなものを選ばれる際、「何がいいかなあ。」とおっしゃるも、笑顔で喜んで選んで下さいました。完成したものをお見せすると、「できたわ。」と満面の笑みを見せて下さる利用者様もみえました。夏祭りの作品展示後、水分補給時に使用する予定です。

ビアガーデン



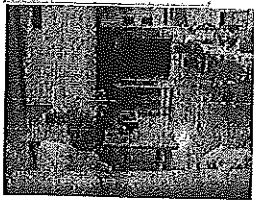
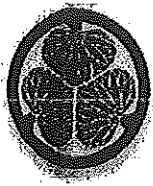
8月3日全館合同で中庭にてビアガーデンを行いました。その日のお昼に雨が降ったせいか、ビアガーデンを行う夕方はとても涼しく過ごしやすく、利用者様もたくさん参加してくださいました。ビアガーデンでは、いつもの居酒屋メニューではなく、ボランティアの方に外で焼きそば、焼き鳥など作ってもらい皆さんに召し上がっていただきました。ビールを飲まれる利用者様も多く、隣の方とお酌をしあったり、久しぶりねと声をかけあったりと全館の交流も深めることができました。利用者様の皆さん笑顔が多くみられ、焼きそばおいしかったよ！ビールがいつもよりうまい！！たまには外でゆっくりするのもいいなあ！！風がきもちいいね！！など、とても喜んでくださいました。これからも、利用者様が喜んでくださるようなイベントを企画していきたいと思えます。

ちよつとした楽ししみ*

「水戸黄門 様」

皆様、毎日ちよつとした楽ししみをお持ちですか？

思川町では、毎日の楽しみとしてテレビで再放送している時代劇が大人気となっております。特に、昔活躍されていた俳優が出ている、水戸黄門がブーム！！平日16:00から1時間、思川町では時代劇鑑賞時間です。入居者様は各々口を揃えて、「これを観なきゃ一日が終わらない」「あなたも一緒に見やあ」と職員も参加しテレビに釘付けです。放送が終わりに近づくにつれ、チャンバラのシーンが始まると「ああ、やられた。」と皆様俳優になりきり大笑いされています。思川町は夕方の1時間職員と一緒に笑いながら鑑賞し、ちよつとした楽しみで気分転換しています。今後、入居者様が心から喜んで頂けるよう楽しみを作っていけたらと思います。皆様も日常生活にちよつとした楽しみを取り入れてみてはいかがでしょうか。



九月予定行事

- 九月 二十五日 雅鳥さん慰問
- 九月 二十四・十八日 音楽療法
- 九月 三十四日 川柳教室
- 九月 六日 御詠歌
- 九月 六日 柴田婦人会さん奉仕活動
- 九月 六日 犬山市介護相談員さん
- 九月 六・十三・二十日 床屋さん
- 九月 十日 バイキング食
- 九月 十一日 創立記念・敬老会
- 九月 十四日 市部幼稚園さん敬老慰問
- 九月 二十一日 美容院さん
- 九月 二十一日 歌と踊りの花しるべさん慰問
- 九月 二十三日 割子弁当
- 嘱託医先生往診・・・毎週水曜日
- 皮膚科先生往診・・・九月 九日
- 犬山病院先生往診・・・九月十三・二十七日
- マッサージさん往診・・・毎週月・水・金曜日
- 理学療法士さんリハビリ・・・九月 九日
- 菓子販売・・・【濃・尚】毎週火曜日

皆様への感謝の心

日頃より、犬山白寿苑の運営にご理解とご協力を賜り、隔月每位、篤志家の方々からご寄付を賜り、利用者の方の生活の充実がより一層図られておりますこと、苑長外職員一同心より感謝致しております。

(全事業所共通)

TEL : 0568-67-6699

FAX : 0568-67-8910

(居宅・地域包括・在宅支援)

TEL : 0568-67-6684

FAX : 0568-67-8910

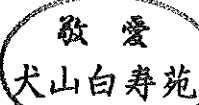
E-mail:hakujuen@i-hakujuen.or.jp

HP:http://www.i-hakujuen.or.jp

ナーシングホーム(特養)犬山白寿苑

デイサービスセンター犬山白寿苑

在宅介護支援センター
犬山白寿苑



地域包括支援センター
柴田地区サブセンター

犬山白寿苑ショートステイ

犬山白寿苑ケアマネジメントセンター